

令和4年度事業報告

I 法人の概況

1. 設立年月日 昭和49年2月8日

協会は、昭和49年2月8日に(社)青森県家畜畜産物衛生指導協会として設立。平成15年7月1日に(社)青森県家畜畜産物衛生指導協会を存続法人として、(社)青森県畜産会及び青森県肉用牛協会が再編統合し名称を「(社)青森県畜産協会」に変更した。

平成20年6月1日に青森県草地畜産協会と統合。更に平成22年4月1日に(社)青森県畜産物価格安定基金協会と合併した。

平成25年4月1日に青森県知事から移行認可を得て「一般社団法人青森県畜産協会」に移行した。

2. 定款に定める目的

協会は、畜産経営の安定向上及び安全で良質な畜産物の生産と流通に関する事業を行い、畜産の振興に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 畜産に係る生産の振興及び経営技術の指導に関する事業
- (2) 畜産に係る調査・研究及び情報の収集・提供並びに畜産指導員の教育及び養成に関する事業
- (3) 畜産農家等が組織する団体の運営の指導に関する事業
- (4) 草地基盤や自給飼料に係る調査・指導及び放牧促進に関する事業
- (5) 畜産物に係る普及啓発及び流通・消費拡大に関する事業
- (6) 経営安定のための肥育牛及び肥育豚に係る生産者積立金及び補填金の交付等に関する事業
- (7) 肉用子牛生産安定等特別措置法に基づく肉用子牛生産者補給金の交付等に関する事業
- (8) 家畜の健康保持等に係る技術指導及び予防接種並びに家畜伝染病の発生時における損失補填金の交付等に関する事業
- (9) 農場の生産衛生の指導及び検査並びに畜産物の安全性確保に関する事業
- (10) その他協会の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁に関する事項 青森県 農林水産部 畜産課

5. 会員の状況

区分	年度当初 会員数	令和4年度		年度末 会員数	備考
		増	減		
正会員	82	0	1	81	R4.6.15 袖平牧野畜産農業協同組合 退会
賛助会員	4	0	0	4	
計	86	0	1	85	

6. 主たる事務所 青森市中央二丁目1番15号(畜連ビル2F)

7. 役員に関する事項

(1) 役員の変動

区分	氏名	所属団体	年月日
退任・理事(専務)	菅 慶一郎	学識経験者	R4. 6. 21
就任・理事(専務)	中 野 晋	学識経験者	R4. 6. 21
退任・理事	山 美 喜 正	全国農業協同組合連合会青森県本部 運営委員	R4. 6. 29
就任・理事	水 越 善 一	全国農業協同組合連合会青森県本部 運営委員	R4. 9. 16
就任・副会長	水 越 善 一	全国農業協同組合連合会青森県本部 運営委員	R4. 10. 12 R5. 2. 20

8. 職員に関する事項

前期末 職員数	増	減	本年度末 職員数	備 考
15	0	0	15	(正職員 7名、嘱託 3名、臨時 4名、 管理獣医師 1名、非常勤を除く。)

9. 総会及び理事会の開催に関する事項

(1) 第1回理事会

令和4年5月26日、アップルパレス青森

理事現在数14名、出席理事8名、出席監事2名

[議決事項]

第1号議案 令和3年度事業報告及び計算書類等の承認について

第2号議案 令和4年度会費及び賛助会費の額並びに徴収方法について

第3号議案 令和4年度借入金限度額及び取引金融機関の承認について

第4号議案 令和4年度事業計画書及び収支予算書等の決定について

第5号議案 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務方法書の一部変更について

第6号議案 役員を選任について

第7号議案 第19回定時総会の開催期日及び提出議案について

[報告事項] (1) 業務の執行状況について

(2) 公益目的支出計画実施報告書について

(2) 第19回定時総会

令和4年6月21日、アラスカ会館

[議決事項]

第1号議案 令和3年度事業報告書及び計算書類の承認について

第2号議案 令和4年度会費及び賛助会費の額並びに徴収方法について

第3号議案 令和4年度事業計画書及び収支予算書の報告について

第4号議案 役員を選任について

- (3) 第2回理事会
令和4年6月21日
理事現在数14名、出席理事10名、出席監事1名
〔議決事項〕
第1号議案 専務理事の選任について
- (4) 第3回理事会（書面議決）
令和4年9月16日
理事現在数13名、同意理事13名、承認監事2名
〔議決事項〕
第1号議案 理事の選任について
第2号議案 臨時総会の開催について
- (5) 臨時総会（書面議決）
令和4年10月12日
〔議決事項〕
第1号議案 役員の選任について
- (6) 第4回理事会
令和5年2月20日
理事現在数14名、出席理事8名、出席監事2名
〔議決事項〕
第1号議案 令和4年度事業計画書及び収支予算書の変更（補正）について
第2号議案 令和5年度事業計画書及び収支予算書について（暫定）
第3号議案 諸規定の変更について
第4号議案 予防接種手数料の変更について
第5号議案 副会長の選任について
第6号議案 任期満了に伴う役員候補者の推薦団体について
- 〔報告事項〕 (1) 業務の執行状況について
(2) 令和4年度青森県公社等経営評価委員会評価結果について

10. 監事会等の実施状況

(1) 監事会

期日場所：令和4年5月23日、青森県畜産協会 会議室
〔監査事項〕 令和3年度会計事務及び業務に関する監査について

(2) 三上公認会計士事務所による会計事務等の調査・指導

- ① 令和4年5月13日、 令和3年度決算財務調査について
- ② 令和4年11月25日、 令和4年度財務調査（前期）について
- ③ 令和5年3月6日、 令和4年度財務調査（後期）について
- ④ 令和5年3月31日、 予防事業ワクチン在庫の現地確認調査（十和田市、八戸市）

11. 基金に関する事項

(1) 預り運営基金（正会員等 63 団体）

(単位：円)

区 分	経営支援（価格安定）			家畜衛生	合計
	肉用子牛	肉 豚	（計）		
期首残	255,910,000	178,100,000	434,010,000	37,260,000	471,270,000
増 減	0	0	0	0	0
期末残	255,910,000	178,100,000	434,010,000	37,260,000	471,270,000

注：肉用子牛に全国肉用牛振興基金協会からの5,000,000円を含む。

(2) 寄 託 金

(単位：円)

団 体 名	区 分	家畜衛生	備 考
地区家畜衛生推進協議会 (5 地区)	期首残	13,122,000	
	増	0	
	取 崩	△ 4,374,000	
	期末残	8,748,000	

12. 会員名簿

(1) 正会員

R5. 3. 31 現在

No.	会 員 名	No.	会 員 名
1	青 森 県	42	青森県軽種馬生産農業協同組合
2	青 森 市	43	(公社) 青森県獣医師会
3	弘 前 市	44	(一社) 青森県配合飼料価格安定基金協会
4	八 戸 市	45	(一社) 青森県養豚協会
5	黒 石 市	46	青森県養鶏協会
6	五 所 川 原 市	47	(公社) あおもり農業支援センター
7	十 和 田 市	48	青森農業協同組合
8	三 沢 市	49	つがるにしきた農業協同組合
9	む つ 市	50	ごしょつがる農業協同組合
10	つ が る 市	51	つがる弘前農業協同組合
11	平 川 市	52	津軽みらい農業協同組合
12	平 内 町	53	十和田おいらせ農業協同組合
13	今 別 町	54	ゆうき青森農業協同組合
14	外ヶ浜町	55	おいらせ農業協同組合
15	蓬 田 村	56	八戸農業協同組合
16	鯡ヶ沢町	57	三戸畜産農業協同組合
17	深 浦 町	58	五戸畜産農業協同組合
18	藤 崎 町	59	三本木畜産農業協同組合
19	鶴 田 町	60	青森県七戸畜産農業協同組合
20	中 泊 町	61	田名部畜産農業協同組合
21	野 辺 地 町	62	大間町畜産農業協同組合
22	七 戸 町	63	深浦畜産農業協同組合
23	六 戸 町	64	田代牧野畜産農業協同組合
24	横 浜 町	65	深持牧野畜産農業協同組合
25	東 北 町	66	奥瀬牧野畜産農業協同組合
26	おいらせ町	67	法量牧野畜産農業協同組合
27	六ヶ所村	68	東青地区家畜衛生推進協議会
28	大 間 町	69	三八畜産衛生協議会
29	東 通 村	70	上十三地区家畜衛生推進協議会
30	佐 井 村	71	むつ地区家畜衛生推進協議会
31	三 戸 町	72	津軽地区家畜衛生推進協議会
32	五 戸 町	73	つがる市屏風山畜産組合
33	田 子 町	74	(農) 和平高原開発農場
34	南 部 町	75	(農) 北栄トラクター利用組合
35	階 上 町	76	(農) 吹越台地飼料生産利用組合
36	新 郷 村	77	青森シャモロック生産者協会
37	青森県農業協同組合中央会	78	青森県養蜂協会
38	全国農業協同組合連合会青森県本部	79	雪印種苗(株)十和田営業所
39	全国共済農業協同組合連合会青森県本部	80	ヤマアグリジャパン(株)東日本カンパニー北東北営業部青森事務所
40	青森県農業共済組合	81	みらいのアグリ(株) (北原電牧)
41	青森県畜産農業協同組合連合会		

(2) 賛助会員

No.	会 員 名	No.	会 員 名
1	青森県農業信用基金協会	3	津軽地域馬肉振興協議会
2	青森県動物薬品器材協会	4	サージミヤワキ(株)札幌営業所

13. 役員名簿

R5. 3. 31 現在

役 職	氏 名	区分	所 属 団 体
会 長	小山田 久	非常勤	十和田市市長
副 会 長	山 崎 憲 久	非常勤	上十三地区家畜衛生推進協議会 会長
副 会 長	水 越 善 一	非常勤	全国農業協同組合連合会青森県本部 運営委員
専務理事	中 野 晋	常 勤	学 識 経 験 者
理 事	小 又 勉	非常勤	七 戸 町 町長
理 事	戸 田 衛	非常勤	六ヶ所村 村長
理 事	小山田 富 弥	非常勤	(公社)青森県獣医師会 会長
理 事	倉 光 弘 昭	非常勤	津軽地区家畜衛生推進協議会 会長 (つがる市長)
理 事	若 宮 佳 一	非常勤	三八畜産衛生協議会 副会長 (五戸町長)
理 事	山 内 正 孝	非常勤	青森県畜産農業協同組合連合会 代表理事会長
理 事	布 施 久	非常勤	(一社)青森県養豚協会 会長理事
理 事	乙 部 輝 雄	非常勤	ゆうき青森農業協同組合 代表理事組合長
理 事	千 葉 準 一	非常勤	青森県農業共済組合 理事
理 事	金 子 春 雄	非常勤	(一社)青森県配合飼料価格安定基金協会 理事長
代表監事	白 戸 勝 一	非常勤	学 識 経 験 者
監 事	斗 澤 康 広	非常勤	十和田おいらせ農業協同組合 代表理事専務

Ⅱ 事業別実績概要

一般会計

1 経営支援対策

1. 補助事業

(1) 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業（機構補助）

①肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業（事業費 7,052,333円）

ア 制度運営適正化推進

肉用子牛生産者補給金制度に係る業務の適正な実施を図るため、肉用子牛の個体識別、個体登録及び販売・保留・異動の確認等の事務を行った。また、家畜市場における肉用子牛の取引情報を収集し、独立行政法人農畜産業振興機構へ報告した。

イ 指定協会調査指導

肉用子牛生産者補給金制度の適正な実施体制の確保に向け、協会の業務規程に基づき、協会が委託する者が行う事務の執行についての点検、調査及び指導を実施した。

②指定協会運営体制支援事業（事業費 5,779,407円）

協会の運営体制を整備し、肉用子牛生産者補給金制度の業務を円滑に遂行した。

(2) 肉用牛経営安定対策補完事業（機構補助・事業費 8,240,424円+2,530円）

地域の活性化に重要な役割を果たしている肉用牛について、繁殖雌牛の増頭や、高齢化等に対応する肉用牛ヘルパー組織の取組に支援した。

①中核的担い手育成増頭推進（補助単価：80,000円、100,000円）

計画的に高能力の肉専用種繁殖雌牛を増頭した者への奨励金の交付
（3戸、4頭、400,000円）

②肉用牛ヘルパー推進（補助率：1/2）

肉用牛ヘルパー利用組合が実施した活動経費に対する補助（2団体 6,279,731円）

③肉用牛振興推進指導

推進会議等の開催、事業推進指導の実施（1,460,693円+3,530円）

(3) 地域畜産支援指導等体制強化事業（地全協補助・事業費 16,293,052円）

県の支援を受けながら、畜産経営の支援体制を整備し、経営や生産技術の指導のほか、地域畜産の活性化や馬事普及啓発などに取り組んだ。

①畜産経営の支援体制の強化を図る事業

ア 畜産経営支援体制確立事業

畜産経営の改善や安定化のため、県内の畜産農家（乳用牛、肉用牛等）の畜産コンサルタントを行った。108件（乳用牛11件、肉用牛45件、養鶏3件、その他49件）

イ 支援指導活動実施に必要な人材（職員）確保、育成事業

支援指導活動実施に必要な人材を育成するため、酪農施設など8か所で実務研修を行った。

ウ 畜産経営に対する基盤強化事業

畜産経営の基盤強化のため、機械導入農家の現状調査や指導を行った。（5か所）

エ 畜産経営に対する所得向上対策事業

経営の所得向上に向け、関係団体に対し制度資金の説明や委託先調査を行った。（6か所）

オ 新規就農者、担い手確保のための事業

- ・放牧地における管理現地研修会の開催 (R4. 9. 14 三戸町 31名)
- ・経営改善指導を目的とした若手養豚経営者勉強会の開催 (R5. 1. 23・24 十和田市 7名)
- ・仲間づくりのための若手女性研修会の開催
(R4. 12. 5 青森市 7名, R5. 3. 7 野辺地町 10名)
- ・東通村肉用牛婦人部会交流会の開催 (R4. 11. 18 東通村 15名)
- ・経営継承支援体制及び担い手確保に係る先進地調査 (R5. 2. 2 群馬県 1名)
- ・青森県畜産経営継承支援協議会への参加 (R5. 3. 23 十和田市 1名)

カ 堆肥ネットワーク推進事業

- ・畜産堆肥の利用拡大に向け、生産者側である畜産農家と利用者側である耕種農家とのマッチングを行った。
- ・堆肥展示会 相談窓口設置 (地域相談員、協会職員) 3か所
- ・5農場の堆肥について分析検査を行い、その結果に基づき指導した。

②地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資するための事業

ア 地域畜産振興対策事業

- ・地域で開催される畜産共進会等に参加し、生産技術等の指導助言と副賞 (8回 13点) の授与を行った。
- ・会員及び関係者に対し各種事業の普及啓発を行うため、畜産協会だよりを年2回 (600部) 発行した。

イ 家畜畜産物衛生指導事業

- ・獣医師研修会及び予防接種事業に係る現地調査等を実施した。(7か所)

ウ 農場 HACCP 認証活動事業

- ・農場 HACCP 指導員養成研修会参加 R4. 10. 4・6(リモート) 2名
- ・認証農場の構築指導 11回

エ 県産畜産物普及拡大推進事業

- ・県産畜産物 (牛肉、はちみつ) について、消費拡大及び普及啓発を図るため、消費者等に向けたセールスプロモーション等を行った。(12か所)

③馬事普及啓発の推進体制の強化を図る事業

新たな競馬ファンの獲得による地方競馬の活性化、畜産の普及啓発と県産畜産物の消費拡大を図るため、盛岡競馬場及び水沢競馬場の開催に合わせ畜産フェアを開催した。併せて地方競馬のPRを行った。

- ・水沢競馬場、盛岡競馬場、(R4. 6. 19、R4. 10. 2)、八戸サラブレッド市場 (R4. 7. 5)、テレトラック十和田 (R4. 9. 4) で県産畜産物のPRを行った。

- ・盛岡競馬場における記念レース（R4. 8. 14）で騎手や調教師への副賞として（県産牛焼肉セット4名分）を授与し、県産畜産物のPRを行った。
- ・盛岡競馬場で競馬観戦ツアー（R4. 10. 23）を開催し、参加者に対し地方競馬のPRと普及活動を行った。
- ・八戸騎馬打毬、十和田市流鏝馬に対し、馬事畜産振興協議会活動事業への参加を促した。
- ・地方競馬ミルクウィーク（水沢競馬場 R5. 3. 11）において、県産乳製品のPRを行った。

(4) 畜産特別資金等推進指導事業（中央畜産会補助・事業費 4,673,858円）

畜産特別資金を必要とする経営体の早期把握に努めるとともに、事業の適正かつ円滑な実施のため、融資機関や借入者に対する必要な指導と支援を行った。

①計画作成指導〔貸付者 0戸〕

②改善計画見直指導

資金名	借入者	経営分析による指導	現地指導
(新) 大家畜特別支援資金	2 戸	2 戸	2 戸
(改) 大家畜特別支援資金	1 戸	1 戸	1 戸
計	3 戸	3 戸	3 戸

③改善計画達成指導

資金名	借入者	経営分析による指導	現地指導	濃密指導
畜産経営改善緊急支援資金(大家畜)	4 戸	4 戸	4 戸	0 戸
畜産経営維持緊急支援資金	3 戸	3 戸	3 戸	1 戸
計	7 戸	7 戸	7 戸	1 戸

(5) 優良肉用子牛生産推進緊急対策事業（機構補助・事業費 7,867,463 円）

肉用子牛生産者の生産意欲を高め、肉用子牛の生産基盤の維持・強化を図るため、畜舎の環境改善や疾病の防止等の経営改善に取り組む肉用子牛生産者に対し、奨励金を交付した。

①対象生産者：肉用子牛生産者補給金制度の契約者

②奨励金：乳用種 243 頭、7,290,000 円 (@30,000 円)

(6) 和子牛生産者臨時経営支援事業（機構補助・事業費 386,090 円）

和子牛価格が堅調に推移するまでの間、和子牛の生産基盤を安定させるためのセーフティネットとして、臨時的な事業を実施した。

①対象生産者：肉用子牛生産者補給金制度の契約者

2. 受託事業

(1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度（機構委託・事業費 10,708,192円）

肉用牛肥育経営の収益性が悪化した場合に、粗収益と生産費との差額の9割を補填することにより、肉用牛肥育経営の安定を図る制度を円滑に推進するため、積立金管理者として機構から業務を受託し、3つの品種について、補填金の交付事務を適切に行った。

①対象家畜

区 分		肉専用種	交 雑 種	乳 用 種	計
積立金取扱頭数	在庫牛再納付	2,257 頭	1,684 頭	1,718 頭	5,659 頭
	通常牛取扱	5,792 頭	6,370 頭	11,334 頭	23,496 頭
	計	8,049 頭	8,054 頭	13,052 頭	29,155 頭

②交付条件：1頭当たりの生産費と粗収益との差額分の9割

③事業推進委託等（事務委託先：12団体）

④補填金の交付状況

（単位：円）

区 分	肉専用種	交 雑 種	乳 用 種	計
令和4年2～3月期	0	6,410,177	95,812,581	102,222,758
令和4年4～5年1月期	114,771,436	71,096,537	362,448,540	548,316,513
計	114,771,436	77,506,714	458,261,121	650,539,271

⑤令和4年度 生産者積立金単価

区 分	肉専用種	交 雑 種	乳 用 種	備 考
1頭当たり積立金	17,000円	19,000円	19,000円	

(2) 肉豚経営安定交付金制度（機構委託・事業費 0円）

肉豚経営の収益性が悪化した場合に、粗収益と生産費の差額の9割を補填することにより肉豚経営の安定を図る事業について、問い合わせに対応した。

また、1戸の養豚生産者と申請事務等委託契約を締結し、生産者が提出する書類の作成代行等の事務を行った。

(3) 畜産経営支援体制確立事業（県委託・事業費 2,400,000円）

高度な技術を持つ生産性の高い畜産経営体を育成するため、畜産経営体の経営・生産技術の高度化に対する支援・指導を行った。

①地域指導相談窓口の配置 3か所（青森市2か所、六ヶ所村）相談件数 48件

②畜産経営技術の総合支援個別支援 60件

③ホームページによる情報提供 12回更新（家畜市場成績、県内畜産イベント情報等）

(4) 畜産クラスター全国実態調査事業（中央畜産会委託・事業費 160,377円）

畜産クラスターの取組推進に係る経営体の指標作成のための調査を行った。（2戸）

(5) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター事業・機械導入事業）

（中央畜産会委託・事業費 3,608,705円）

畜産クラスター計画に位置づけられている地域の中心的な経営体を対象に、収益力強化等に必要な機械装置の導入支援を行った。

区 分	補助金配分件数	うち参加申請件数	うち承認件数	備 考
令和3年度	137 件	93 件	93 件	
令和4年度	123 件	91 件	44 件	
計	260 件	184 件	137 件	

令和4年度の補助金配分額	318,569,000円
平成28年度～令和4年度の配分合計額	2,336,689,000円

- (6) 畜産経営体生産性向上対策事業（畜産 ICT 事業）（中央畜産会委託・事業費 153,201 円）
令和4年度は、事業の参加はなく、前年度までに導入した機械の現地確認等を行った。

区 分	総事業費	国庫補助金	その他	備 考
機械装置導入事業	3,916,000	1,780,000	2,136,000	

- (7) 畜産関係団体調整機能強化事業（中央畜産会委託・事業費 2,412,779円）
生産者の組織整備（仲間づくり）に向けた取組や、専門家（畜産コンサルタント、畜産クラスターコーディネーター、HACCP指導相談員等）による畜産の経営技術、制度資金等の各種相談に応じる畜産経営窓口を設置した。

- (8) 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（楽酪GO事業）
（中央畜産会委託・事業費 637,817 円）
令和4年度は、事業の参加はなく、前年度までに導入した機械の現地確認等を行った。

- (9) 貸付事業指導等事業（畜産近代化リース協会委託・事業費 331,195円）
畜産近代化リース事業により整備したトラクターなどの畜産関係機械施設の利用状況調査や指導、新規開拓に係る調査を行った。
①利用状況調査・指導：10戸、基数：19基
②新規開拓調査：1団体

- (10) 草地難防除雑草駆除技術実証事業（日本草地畜産種子協会委託・事業費 574,317 円+22,103 円）
農業者団体が草地の生産性向上のために難防除雑草の駆除技術を実証する取組が円滑に行われるよう支援を行った。
（補助率 調査分析：1/2 以内、草地転換：1/2 以内、上限 17 千円/10a）
草地転換面積 24.5ha、事業参加戸数 5 戸

- (11) 生産基盤拡大加速化事業（肉用牛）（全国肉用牛振興基金協会委託・事業費 1,635,303 円）
牛肉の国内需要の増加と輸出拡大の推進に向け、畜産クラスター計画に基づき、優良な繁殖雌牛を増頭した場合に増頭実績に応じた奨励金を交付した。
①奨励金単価：飼養頭数 50 頭未満 246 千円、50 頭以上 175 千円
②対 象 上 限：1 対象者当たり 50 頭を上限
③奨 励 金：92 戸、232 頭、54,445,000 円

3. 協会単独事業（自主事業）

- (1) 肉用牛肥育経営安定対策推進事業（事業費 4,785,110円）
肉用牛肥育経営安定対策事業の円滑な推進を図るために事務委託先(12団体)に対し、委託事務に要する経費等を助成した。

- (2) 畜産振興対策事業（事業費 2,522,963円）
県内の畜産経営の安定や県産畜産物のPRなどの畜産振興のため、畜産コンサルタントや畜産物の価格安定、肉用牛の高品質化に向けた取組等について、地全協や機構、県の事業と連携して実施した。

4. 馬事畜産振興対策事業

青森県馬事畜産振興協議会を通じて地方競馬の活性化をはじめ、畜産の普及啓発と県内の畜産物の消費拡大を図るため、テトラック十和田における畜産フェアのほか、盛岡競馬場における地方競馬の観戦ツアーを開催した。

- ①畜産フェア (R4. 9. 4 十和田市) 100個
- ②盛岡競馬場観戦ツアー (R4. 10. 23 岩手県盛岡市) 59名
- ③ 〃 記念レース (R5. 8. 14 岩手県盛岡市)
- ④地方競馬ミルクウィーク (R5. 3. 11 岩手県奥州市)
- ⑤馬伝統行事 2件

5. 養蜂対策事業

はちみつの品質向上のため、青森県養蜂協会の事務局として「はちみつ品評会」を開催した。
はちみつ品評会 (R4. 10. 28 青森市) 出品数 74点

特別会計

1. 補給金事業

(1) 肉用子牛生産者補給金制度(機構補助・積立助成金 15,590,200 円、補てん金 10,670,300 円)

肉用子牛の再生産の確保と農業経営の安定を図るため、肉用子牛の価格が低落し国の定める保証基準価格を下回った場合に、その価格差を補填する肉用子牛生産者補給金制度の運営を行った。

令和4年度は、第7業務対象年間の3年目となっている。「その他の肉専用種」(日本短角種等)及び「乳用種」については平均売買価格が保証基準価格を下回り、発動があった。子牛の個体登録頭数は、「黒毛和種」及び「乳用種」が前年度より増加し、他の品種は減少した。全体では前年比105.2%の10,636頭となった。

① 生産者補給金交付契約締結状況 (単位：戸)

区分	個人	農協	農事組 合法人	株式 会社	有限 会社	市町村	その他	計
30年度末	750	3	2	5	4	1	0	765
元年度末	760	3	2	6	4	1	0	776
2年度末	666	3	1	13	9	0	2	694
3年度末	673	3	1	15	10	0	2	694
4年度末	675	3	1	16	10	0	2	707

② 事務委託先契約締結状況 (単位：件)

区分	総合農協	専門農協	その他	計
30年度末	8	5	1	14
元年度末	8	5	1	14
2年度末	8	5	1	14
3年度末	8	5	1	14
4年度末	8	5	1	14

③ 契約肉用子牛個体登録頭数の内訳 (単位：頭)

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の 肉専用種	乳用種	交雑種	計
継続	1,328	0	4	0	4	1,336
新規	5,641	0	21	2,196	1,442	9,300
計	6,969	0	25	2,196	1,446	10,636

④ 保証基準価格と合理化目標価格 (単位：円/頭)

品種区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	541,000	498,000	320,000	164,000	274,000
合理化目標価格	429,000	395,000	253,000	110,000	216,000

⑤ 肉用子牛1頭当たりの生産者積立金及び負担区分（令和2年4月登録分から）（単位：円）

品種区分	生産者積立金	負担区分		
		農畜産業振興機構	青森県	生産者
黒毛和種	1,600	800	400	400
褐毛和種	6,000	3,000	1,500	1,500
その他の肉専用種	18,800	9,400	4,700	4,700
乳用種	6,800	3,400	1,700	1,700
交雑種	3,200	1,600	800	800

⑥ 生産者積立金造成内訳（単位：頭、円）

品 種	個体登録頭数	積立金単価	積立金所要額	負担区分		
				機構(1/2)	青森県(1/4)	生産者(1/4)
黒毛和種	継続	1,328	1,600	—	—	531,200
	新規	5,641	1,600	—	—	2,256,400
	計	6,969	—	11,150,400	5,575,200	2,787,600
褐毛和種	継続	0	6,000	—	—	0
	新規	0	6,000	—	—	0
	計	0	—	0	0	0
その他の肉専用種	継続	4	18,800	—	—	18,800
	新規	21	18,800	—	—	98,700
	計	25	—	470,000	235,000	117,500
乳用種	継続	0	6,800	—	—	—
	新規	2,196	6,800	—	—	3,733,200
	計	2,196	—	14,932,800	7,466,400	3,733,200
交雑種	継続	4	3,200	—	—	3,200
	新規	1,442	3,200	—	—	1,153,600
	計	1,446	—	4,627,200	2,313,600	1,156,800
合 計	継続		—	—	—	553,600
	新規		—	—	—	7,241,500
	計	10,636	—	31,180,400	15,590,200	7,795,100

(注) 個体登録頭数は令和4年1月～令和4年12月分

⑦ 生産者積立金及び生産者積立準備金管理状況

(単位：円)

区 分		保証基準価格の品種区分							
		黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	合 計		
1 期首 残高	内 訳	①生産者積立金	18,120,915	0	1,929,433	25,522,222	12,224,887	57,797,457	
		②生産者積立準備金	—	—	—	—	—	125,297,467	
		③生産者の負担金充当分	—	—	—	—	—	2,314,319	
		④都道府県の生産者積立助成金充当分	—	—	—	—	—	122,983,148	
		⑤機構の生産者積立助成金充当分	—	—	—	—	—	0	
2 生産者積立金積立実績	内	⑥生産者積立金純増加額 (⑨+⑫+⑮+⑱)	7,831,200	0	333,700	11,199,600	3,467,200	22,831,700	
		⑦生産者積立準備金からの繰入額 (⑩+⑬+⑯)	3,319,200	0	136,300	3,733,200	1,160,000	8,348,700	
		⑧ 計	11,150,400	0	470,000	14,932,800	4,627,200	31,180,400	
	内 訳	生産者	⑨負 担 金	2,256,000	0	98,700	3,733,200	1,153,600	7,241,500
			⑩生産者積立準備金(③からの繰入額)	531,600	0	18,800	0	3,200	553,600
			⑪ (小計)	2,787,600	0	117,500	3,733,200	1,156,800	7,795,100
		都道府県	⑫生産者積立助成金	0	0	0	0	0	0
			⑬生産者積立準備金(④からの繰入額)	2,787,600	0	117,500	3,733,200	1,156,800	7,795,100
			⑭ (小計)	2,787,600	0	117,500	3,733,200	1,156,800	7,795,100
		機構	⑮生産者積立助成金	5,575,200	0	235,000	7,466,400	2,313,600	15,590,200
			⑯生産者積立準備金(⑤からの繰入額)	0	0	0	0	0	0
			⑰ (小計)	5,575,200	0	235,000	7,466,400	2,313,600	15,590,200
			その他	⑱生産者積立金とすることを指定して寄附又は補助された財産	0	0	0	0	0
3 他の資産からの繰入状況等	⑲特別の積立金から生産者積立金への繰入れた金額	0	0	0	0	0	0		
	⑳調整積立金から生産者積立金への繰入れた金額	0	0	0	0	0	0		
	㉑交付した補給金の生産者からの返還額	0	0	0	0	0	0		
	㉒生産者補給金に充てるための全国協会等からの借入金額	0	0	0	0	0	0		
	㉓生産者積立金に係る運用果実	97	0	9	141	61	308		
	㉔生産者積立準備金に係る運用果実	—	—	—	—	—	26,487		
	㉕生産者補給金交付額 (㉑を含む)	0	0	0	0	0	0		
	㉖生産者積立金からの借入金返済額	0	0	0	0	0	0		
	㉗生産者積立金から生産者積立準備金への繰入額	0	0	0	0	0	0		
	㉘生産者積立金からの返還額 (生産者分)	0	0	0	0	0	0		
	㉙生産者積立金からの返還額 (県分)	0	0	0	0	0	0		
	㉚生産者積立金からの返還額 (機構分)	0	0	0	0	0	0		
	㉛特別の積立金から生産者積立準備金への繰入額	0	0	0	0	0	0		
	㉜生産者積立準備金からの返還額 (生産者分)	0	0	0	0	0	0		
㉝生産者積立準備金からの返還額 (県分)	0	0	0	0	0	0			
㉞生産者積立準備金からの返還額 (機構分)	0	0	0	0	0	0			
4 期末 残高	内 訳	㉟生産者積立金(①+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮+⑯+⑰+⑱)	29,271,412	0	2,399,442	40,455,163	16,852,148	88,978,165	
		㊱生産者積立準備金(②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮+⑯+⑰+⑱)	—	—	—	—	—	116,975,254	
		㊲生産者の負担金充当分	—	—	—	—	—	1,760,738	
		㊳都道府県の生産者積立助成金充当分	—	—	—	—	—	115,214,516	
		㊴機構の生産者積立助成金充当分	0	0	0	0	0	0	

⑧ 特別の積立金管理状況

(単位：円)

区 分		黒毛和種	褐毛和種	その他の 肉専用種	乳用種	交雑種	合計
期首残高					0		0
増 加	特別納付金				0		0
	受入利息				0		0
	生産者積立金返還金				0		0
	小計				0		0
減 少	普通財産へ繰入				0		0
	生産者積立準備金へ繰入				0		0
	小計				0		0
期末残高					0		0

⑨ 償還円滑化積立金管理状況

(単位：円)

区 分		黒毛和種	褐毛和種	その他の 肉専用種	乳用種	交雑種	合計
期首残高			128,788		290,120	9,038,397	9,457,305
増 加	生産者積立準備金より繰入		0		0	0	0
	受入利息		35		78	2,450	2,563
	小計		35		78	2,450	2,563
減 少	機構へ償還		0		0	0	0
	全国協会へ償還		0		0	0	0
	小計		0		0	0	0
期末残高			128,823		290,198	9,040,847	9,459,868

⑩ 生産者補給交付金交付状況

(単位:頭、円、人)

区分	保証基準価格の 品種区分		黒毛 和種	褐毛 和種	その他の 肉専用種	乳用種	交雑種	合計	
令和4年 1月1日 ～ 令和4年 3月31日	交付対象 頭数 ①	販売			16			16	
		保留			33			33	
		合計			49			49	
	②生産者補給金単価				8,200			-	
	③生産者補給金交付額 (①×②)				401,800			401,800	
交付対象生産者数				8			8		
令和4年 4月1日 ～ 令和4年 6月30日	交付対象 頭数 ①	販売							
		保留							
		合計							
	②生産者補給金単価								
	③生産者補給金交付額 (①×②)								
交付対象生産者数									
令和4年 7月1日 ～ 令和4年 9月30日	交付対象 頭数 ①	販売				413		413	
		保留				68		68	
		合計				481		481	
	②生産者補給金単価					14,500		-	
	③生産者補給金交付額 (①×②)					6,974,500		6,974,500	
交付対象生産者数					3		3		
令和4年 10月1日 ～ 令和4年 12月31日	交付対象 頭数 ①	販売				0		0	
		保留				90		90	
		合計				90		90	
	②生産者補給金単価					36,600		-	
	③生産者補給金交付額 (①×②)					3,294,000		3,294,000	
交付対象生産者数					3		3		
令和4年 合計 1月1日 ～ 12月31日	交付対象 頭数	販売	0	0	16	413		429	
		保留	0	0	33	158		191	
		合計	0	0	49	571		620	
	生産者補給金交付額			0	0	401,800	10,268,500		10,670,300
	交付対象生産者数			0	0	8	3		11

2. 肉用牛肥育経営安定交付金制度（事業費 1,056,577,432円）

肉用牛肥育経営安定交付金制度の積立金管理者として、生産者積立金の徴収及び基金管理について適正に運営した。

（1）令和4年度（4～5月）基金管理状況（第1業対 令和5年3月31日現在）

（単位：円）

区 分		肉専用種	交 雑 種	乳 用 種	計
前期繰越金(A)		58,255,614	121,935,270	201,223,370	381,414,254
収 入	生産者積立金	70,000	390,000	0	460,000
	機構交付金	0	(4,807,625)	(71,886,737)	(76,694,362)
	計(B)	70,000	5,197,625	71,886,737	77,154,362
基金累計額(C=A+B)		58,325,614	127,132,895	273,110,107	458,568,616
支 出	補填金交付額(積立金)	0	1,602,552	23,925,844	25,528,396
	補填金交付額(機構)	0	(4,807,625)	(71,886,737)	(76,694,362)
	基金返戻金支出	58,325,614	120,722,718	177,297,526	356,345,858
	計(D)	58,325,614	127,132,895	273,110,107	458,568,616
基金残額(C-D)		0	0	0	0

（2）令和4年度（4～3月）基金管理状況（第2業対 令和5年3月31日現在）

（単位：円）

区 分		肉専用種	交 雑 種	乳 用 種	計
前期繰越金(A)		0	0	0	0
収 入	生産者積立金	136,595,000	152,456,000	247,988,000	537,039,000
	機構交付金	(86,095,611)	(53,328,009)	(271,836,385)	(411,260,005)
	受取利息	667	912	1,271	2,850
	計(B)	222,691,278	205,784,921	519,825,656	948,301,855
基金累計額(C=A+B)		222,691,278	205,784,921	519,825,656	948,301,855
支 出	補填金交付額(積立金)	28,675,825	17,768,348	90,612,155	137,056,328
	補填金交付額(機構)	(86,095,611)	(53,328,009)	(271,836,385)	(411,260,005)
	計(D)	114,771,436	71,096,357	362,448,540	548,316,333
基金残額(C-D)		107,919,842	134,688,564	157,377,116	399,985,522

2 家畜衛生対策

1. 補助事業

(1) 家畜生産農場衛生対策事業（国補助・事業費 8,648,083円）

症状が明確でない慢性的な伝染性疾患の増加に加え、清浄化が困難な伝染性疾患の発生がみられることから、家畜の損耗防止のため、生産者サイドでの自主的かつ組織的な取組により、疾病の清浄化と発生・流行防止対策を推進した。

①ヨーネ病早期清浄化のための自主淘汰の推進

- ・患畜同居牛の自主淘汰
- ・淘汰推進費交付頭数 11頭（5戸）

②牛伝染性リンパ腫（EBL）の感染拡大防止の推進

- ・抗体検査：27頭
- ・放牧場等対策：忌避駆除薬 11農場、防虫ネット 4農場、アブキャップ9農場

③牛ウイルス性下痢（BVD）対策

- ・講習会：1回（R4.9.5 東北町）

講演：「牛伝染性リンパ腫感染対策の一手 ～初乳・移行乳～」

講師：エランコジャパン株式会社 ファームアニマル事業部 学術獣医師 富田 志織 氏

- ・講演：「青森県の高病原性鳥インフルエンザの防疫対策について」

講師：青森県農林水産部 畜産課 衛生・安全グループ 副参事 田中 慎一 氏

④農場飼養衛生管理強化対策

- ・指定獣医師 4名、農場指導 延べ34戸

(2) 牛疾病検査円滑化推進対策事業（国補助・事業費 3,956,733円）

牛海綿状脳症（BSE）の浸潤状況を正確に把握し BSE 防疫対策を検証するため、「牛海綿状脳症対策特別措置法」に基づき、死亡牛（96 月齢以上の死亡牛及び 48 月齢以上の起立不能牛等）の検査と適正処理を推進した。

- ・死亡牛の管理促進費、輸送促進費及び化製処理費の補助：対象頭数 232頭

(3) 獣医師養成確保修学資金給付事業（国補助・事業費 3,390,306円）

本県の家畜防疫体制の強化を図るため、本事業の普及啓発と、獣医師養成確保修学資金の給付を行った。

①修学資金給付者：2名（3,060,000円）

②共同負担者：（青森県 1名、NOSA I、1名）

(4) 豚丹毒予防接種向上対策事業（市町村補助・事業費 34,500円）

豚丹毒の発生を防止するため、本会が行う豚丹毒予防接種向上対策事業に要する経費の一部に対し、補助金を交付した。

①実施市町村：七戸町（本会を經由して生産者へ補助金を交付）

②補助対象頭数：2,300頭（1頭当り15円）

(5) 家畜防疫・衛生指導対策事業（中央畜産会助成・事業費 4,242,333円）

家畜伝染病の発生予防・まん延防止等を確実かつ効率的なものとするため、地域における自衛防疫活動として推進会議及び防疫演習を実施した。また、農場 HACCP 認証取得の構築指導を実施するとともに、既認証農場に対する内部検証等の取組に支援した。

①地域自衛防疫取組促進：事業推進検討会等開催 2回

②地域自衛防疫活動推進：

- ・防疫講習会：1回（R4.9.5 東北町）

- ・防疫演習 3地域（R4.9.13 十和田市、R4.10.25 八戸市、R4.11.8 八戸市、R4.11.11 青森市）

- ③馬伝染性貧血自衛検査：競馬場入厩馬の自衛検査 5頭
 - ④地域農場HACCP認証支援
 - ・農場HACCP普及推進協議会・講習会：1回（青森市）
 - ・地域取組活動：意見交換会：1回（十和田市）
 - ・農場HACCP認証取得に係る構築指導：3戸（肉用牛 1戸、養豚 1戸、養鶏 1戸）
- (6) 野生獣衛生推進体制促進事業（家畜衛生対策推進協議会助成・事業費 1,123,841円）
全国的な野生獣（シカ、イノシシ）の増加を踏まえ、地域の畜産及び野生獣関係機関、団体等が連携し、衛生実態調査成績の検討を行う協議会等を開催した。また、猟友会等の協力により捕獲した野生獣の衛生実態調査を実施した。
- ①青森県野生獣衛生対策連絡協議会：1回（R4.9.13）
 - ・青森県の衛生実態等調査（令和2・3年度）
 - ・全国の衛生実態等調査（令和2・3年度）
 - ・青森県内の野生動物（ニホンジカとイノシシ）目撃情報等について
（情報提供：青森県環境生活部 自然保護課）
 - ②野生獣の衛生対策推進講習会：（リモート開催）
〔家畜衛生対策推進協議会（事務局：中央畜産会）主催の講習会に参加〕
 - ・演題「野生獣におけるSFTS（重症熱性血小板減少症候群）E型肝炎等の浸潤状況について」
 - ・講師 国立感染症研究所 獣医科学部 部長 前田 健 氏
 - ③野生獣衛生実態調査：ニホンジカ 13頭、イノシシ 2頭

2. 受託事業

- (1) 馬飼養衛生管理特別対策事業（中央畜産会委託・事業費 962,884円）
馬の生産、流通の広域化等を背景とした県内への伝染性疾病の侵入や流行を防止するため、競走馬以外の馬を対象として飼養衛生に関する講習会や実態調査等を実施した。
- ①地域馬飼養衛生管理体制整備委員会：2回（R4.6.30 青森市、R4.9.12 南部町）
 - ②馬飼養衛生管理技術地方講習会：1回（R5.1.19 十和田市）
講演：「馬パラチフスについて」
講師：北海道十勝家畜保健衛生所 病性鑑定課長 伊藤 満 氏
 - ③馬獣医療実態調査：7戸
 - ④馬飼養衛生基礎技術実習：1回（R4.11.12 十和田市）
講演：「Wet Lab～裂蹄治療における最新アップデートについて」
講師：イチヤマホースクリニック 一山 雄二郎 氏
- (2) 馬伝染性疾病防疫推進対策事業（中央畜産会委託・事業費 5,802,878円）
乗用馬・農用馬等を対象とした馬インフルエンザや、馬鼻肺炎のワクチン接種の推進と感染症対策の普及啓発を行った。
- ①検討会の開催：2回（R4.6.30 青森市、R4.9.12 南部町）
 - ②馬インフルエンザ予防接種：163頭
 - ③馬鼻肺炎予防接種：196頭（生ワクチン）
- (3) 育成馬等予防接種推進事業（中央畜産会委託・事業費 1,269,455円）
軽種馬生産地における伝染性疾病の発生流行防止のため、育成馬の予防接種を徹底した。
- ①馬インフルエンザ、馬流行性脳炎、破傷風（3種混合）予防接種 301頭
 - ②馬インフルエンザ予防接種 39頭

(4) 地域養豚生産衛生向上対策支援事業 (中央畜産会委託・事業費 10,509,354円)

地域一体となって飼養衛生管理基準に基づき、疾病の発生低減と清浄化を図るため、定期疾病検査のほか、農場内の生産性を阻害する原因の解析や、効果的な疾病対策を検討するための推進会議と講習会を開催した。

①地域推進会議：2回 (R4.10.26・R5.3.24 三沢市)

②巡回指導：2回 (7農場)

③モニタリング検査：豚農場11戸、(13農場)、5疾病、2回、(延べ1,456件)

(PRRS、豚胸膜肺炎、マイコプラズマ肺炎、豚増殖性腸炎・拭き取り検査)

(5) 家畜防疫互助基金支援事業 (中央畜産会委託・事業費 1,640,205円)

CSF (豚熱) やASF (アフリカ豚熱)、口蹄疫等の悪性伝染病が発生した場合の畜産経営への影響を緩和するため、経営再開までに必要な経費を互助補償する仕組みへの加入推進を図った。

また、発生農場において、飼養衛生管理基準の遵守が不十分な事例が確認されたため、契約者及び関係団体へ飼養衛生管理基準を遵守を促すためのパンフレットを配布した。

①対象伝染病：口蹄疫、牛疫、牛肺炎、アフリカ豚熱 (ASF)、豚熱 (CSF)

②互助金交付対象

・法に基づき殺処分した農場が経営再開のために家畜を導入した経費

・殺処分した家畜を焼却・埋却するため自ら負担した経費

③契約締結状況 (4年度末)

区分	契約戸数	契約頭数	積立金額	備考
牛	664	56,191	8,406,565	
豚	30	360,124	47,947,090	
計	694	416,315	56,353,655	

3. 協会単独事業 (自主事業)

(1) 自衛防疫強化対策事業 (事業費 911,004円)

最近における家畜の飼養衛生の実態を踏まえ、自衛防疫体制の確立と自衛防疫事業が効率的に推進できるよう、会議を開催した。

①事業推進会議 県推進会議 2回、地域推進会議 4地区

(R4.6.30・R5.2.14 青森市、R5.3.15~3.17 各地区)

(2) 自主防疫推進事業 (予防接種事業) (事業費 55,083,981円)

家畜伝染病の発生・流行を防止するため、国・県の指導のもとに、生産者や市町村関係団体、地区家畜衛生推進協議会による防疫体制を強化しながら、指定獣医師による家畜伝染病予防接種事業を円滑に推進した。(実績頭羽数：付表のとおり)

(3) 総合指導事業 (事業費 552,204円)

家畜の疾病が複雑多様化していることから、地域で抱えている家畜衛生対策の課題解決に必要な事業への助成や指定獣医師の技術向上等のための取組を行った。

①家畜防疫地域活性化促進事業 2地区実施

(東青地区) 産業動物獣医療安定確保対策事業

治療・繁殖検査等の診療機会の充実を図るため、肉用牛飼養農家に対し、獣医師の定期的な巡回を行った。(24回、延べ185戸)

(むつ地区) ミルキングシステム点検事業

乳質の向上と乳房炎の発生を予防するため、正しい搾乳技術とミルキングシステムの点検を行った。(実施戸数：7戸)

②研修・広報事業

ア 地区研修会等開催状況 開催協議会：4地区、開催回数：延べ5回

(4) 自衛防疫指導事業（事業費 3,783,000 円）

寄託金を財源として、地区家畜衛生推進協議会が行う自衛防疫関連事業及び研修広報事業等を円滑に推進した。(5 地区)

(5) 家畜防疫互助推進事業（事業費 92,658円）

家畜防疫互助基金造成等支援事業の推進を補完した。

(6) 死亡牛処理管理促進事業（事業費 235,358 円）

死亡牛処理に係る産業廃棄物処理票（マニフェスト）の保管・管理等の適正に行い、死亡牛処理を円滑に推進した。（取扱頭数 3,570 頭）

付 表

(1) 自主防疫推進事業実績 (令和4年度)

① 家畜伝染病予防接種実績頭数

(単位: 円/頭・羽)

区 分	4年度 計画頭数	4年度 実績頭数	地区協議会別実績頭数					
			東 青	三 八	上十三	む つ	津 軽	
(1) 補助等事業								
馬	馬インフル・脳炎・破傷風(混)	350	301	協会直接事業				
	馬インフルエンザ(不)	50	39					
	日本脳炎(不)	10	0					
	馬鼻肺炎(生)	250	196					
	馬インフルエンザ(不・自衛防)	170	163					
(2) 協会事業								
牛	牛アカバネ病	6,500	5,798	147	1,279	2,962	885	525
	牛伝染性鼻気管炎5種混(生)	10,550	9,280	172	2,004	5,113	1,290	701
	牛伝染性鼻気管炎6種混(生・不)	155	1,090	66	10	729	260	25
	牛ヘモフィルス感染症	9,050	9,086	175	1,967	4,976	1,285	683
	牛クロストリジウム感染症(5種混)	5,450	4,882	216	726	2,433	1,026	481
	牛下痢5種混合(不)	95	89	57				32
豚	豚丹毒(生20m1)	19,700	14,071		771	13,300		
	豚丹毒(生50m1)	17,000	18,068		12,818	5,250		
	豚丹毒(不50m1)	6,000	6,000		6,000			
	日本脳炎(生)	500	430			430		
	日本脳炎・豚パルボ混合(生)	200	260			260		
馬	馬インフル・流脳・破傷風(混)	110	162	協会直接事業				
	馬インフルエンザ(不)	15	29					
	日本脳炎(不)	45	72					
	馬鼻肺炎(生)	0	3					
鶏	ニューカッスル病・IB(混)	116,000	95,000	5,000				90,000